創英社通信

本を創るから売るまで

BOOKS SANSEIDO

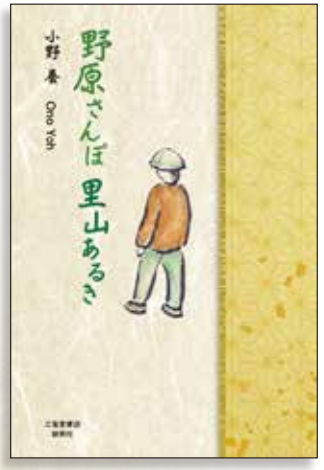
Vol.07

2025.05.01

新刊・近刊紹介

野原さんぽ 里山あるき

小野 養



90歳の絵日記。

タンポポの小径を歩いてゆけば、足腰の不具合も忘れ、ウグイスの鳴く音につい誘われて、東京郊外の里山に住みつき描き続けた絵日記。

■ エッセイ ■
定価：1,540円（税込）
四六判・並製　212頁
ISBN 978-4-87923-293-9

スペイン武勲詩集

岡村 一

中世ヨーロッパで隆盛を極めた、幻の武勲称揚の韻律

『ララの七公子』、『わがシッドの歌』、『フェルナン・ゴンサレスの詩』を収録。質実剛健、抑制とリアリズム、特徴的な修辞が往時の空気感の顕現を試みる。

■ 海外文学 ■
定価：2,750円（税込）
四六判・並製　328頁
ISBN 978-4-87923-297-7

風のささやき

九二歳までの生活詩（史）

加藤 幸一

一層の清冽をまとった九十二歳の「ささやき」の詩と、「生活」史と

それは、人に聞かせるためでも自分のためでもない、ましてや「拡散希望」でもない。九十二歳の静謐な生活の中で眼差された森羅万象は、高純度の至高の「ささやき」の詩魂へと昇華していった。

■ 詩集 ■
定価：1,650円（税込）
四六判・並製　242頁
ISBN 978-4-87923-303-5

改訂増補版 行政書士のための相続実務マニュアル

初見 孝

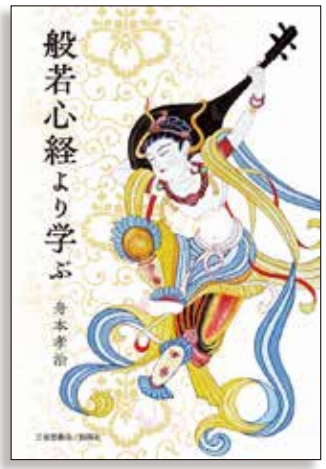
業務が広がる・夢がかなう

令和4年刊行の『行政書士のための相続実務マニュアル』が在庫僅少となり、その改訂増補版として発行。行政書士のための実務に根差した、実務に役立つ初めての相続業務の体系書です！

■ 法律 ■
定価：2,970円（税込）
A5判・並製　256頁
ISBN 978-4-87923-287-8

般若心経より学ぶ

舟本 孝治



人は独りで生きているのではない。

複雑な人間関係と向き合う心は「好き・嫌い・愛・憎しみ」などのあらゆるものを造り出す。この心を巧みに生かす智慧、「色即是空 空即是色」を問う。認識の対象は縁起により生じる仮の姿だ。認識の主体も縁起により生じた仮の姿なのだ。

■ 思想 ■
定価：1,210円（税込）
四六判・並製　152頁
ISBN 978-4-87923-295-3

紙の書籍を出版後ご利用頂けます　電子出版のご案内

ご自身の著作に「第2の人生を」とお考えの方、もっと別の表現の場所をとご希望の方に朗報です。

配信可能な電子書店は
15社以上！

著者のメリット
- 在庫切れにならない。
- 在庫を抱える心配がない。
- 流通管理費が紙の本より安い。

読者のメリット
- 24時間どこでも購入できる。
- 本を持ち歩かないから荷物にならない。
- 家に本を置くスペースがいらない。

★ 当サービスは、三省堂書店／創英社にて出版した書籍を対象としております。
★★ 電子書籍のみの出版・販売は承ることができません。
★ 現在自費出版をお考えの方につきましても、書籍完成後に電子出版も可能です。

2024年11月～2025年3月発行書籍一覧

11月

相補曲線 発想とはスポーツと同様 ［人文・社会］ 土井 棟治朗

杉山茂丸論 「国士」の自画像と実像 ［人文・社会］ 坂上 知之

12月

幸せを探して ［文芸］ ながつか はるみ

イスラム金融の原理と経済 ［政治・経済］ 渡辺 喜宏

心の不思議 ［人文・社会］ 櫻井 昭彦

七つの転職 八つの職場 ［文芸］ 島添 芳実

スーパーカー外伝 ［生活・実用］ 松中 完二

女房を壊してしまった老医師が提唱する再生可能エネルギーのすすめ ［文芸］ 松田 昭夫

1月

家族のそよ風 耳をすませば幸せの〝こだま〟が聞こえてくる ［絵本・児童書］ 松橋 秀晧

大経済学 天からお金が降ってくる―この世のカラクリ ［政治・経済］ 足立 誠也 足立 誠之 足立 誠郎

2月

詩集 心疼く ［文芸］ たかはし しげを

閑話九十休題 ［ノンフィクション］ 土方 太郎

電磁気学 現象と理論 ［理工］ 藤田 丈久

3月

外国語教育用語事典 ［教育学］ 佐野 富士子

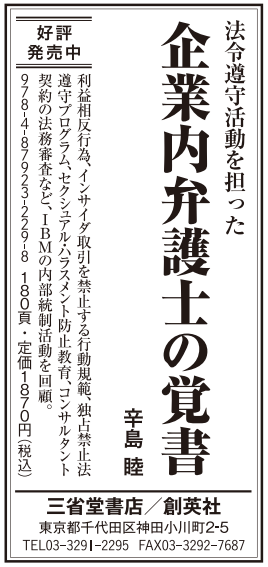
ウェールズ語辞典 ［辞典］ 石井 淳二

全国版新聞・雑誌広告掲載

当社では、主要全国紙、有力地方紙等への広告掲載が可能です。有償にて承りますのでご相談ください。

日経新聞

2月19日 サンヤツ広告



読売新聞

3月16日 サンヤツ広告

新本店ビル建設 進捗のご報告

「三省堂書店 神田神保町本店」新店舗のオープンは、2026年3月を予定しております。（当部署の移転先については別途ご連絡いたします）

建設中の新本店ビル（2025年4月18日撮影）

三省堂書店 出版事業担当
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-5
TEL 03-3291-2295
FAX 03-3292-7687
https://www.books-sanseido.co.jp/soeisha/

編集課長コラム *Repeat after me*

第三回

「スーパーカー」から見たコトバと日本社会

松中 完二さん

松中完二さん（56）は、押しも押されもせぬわが国を代表する一線級の言語学者であり、日本の学位で最高峰にして最難関レベルに鎮座する論文博士号を35歳の若さで取得した大学教員である。その傍ら松中さんは釣り、空手、バイク、車と幅広い趣味をお持ちの、多芸多才の風流人である。自動車運転免許を取得後、最初に購入した愛車がランボルギーニ・カウンタックということで、松中さんは大学院生の頃からフェラーリ、ランボルギーニ、マクラーレンといった錚々たる「スーパーカー」を今日まで乗り継いで来た。そんな眠れる巨人の松中さんが長年の沈黙を破り、自身の車趣味の集大成としてまとめたのが小社刊『フェラーリとランボルギーニ』（2022）である。今回の『スーパーカー外伝』（2025）は、その続編にあたる。実は2020年の冬に松中さんは病に倒れ、入院を余儀なくされた。入院中は「なぜ自分は言語学者になったのか？」、「なぜ意味を研究しているのか？」、「なぜ『スーパーカー』に乗っているのか？」、果ては「自分に与えられた使命は何か？」を自問自答する日々だったそうだ。そこで気付いたのが、言葉の研究と「スーパーカー」との接点だった。言葉は思考を司る道具である。言葉の未成熟は思考の未成熟、ひいては精神の未成熟、文化の未成熟を意味する。世界は言葉で出来ている。松中さんが「スーパーカー」という究極の構造物に興味を持ったのも、コトバという最もつかみどころのない抽象物を研究の対象としてきた反動からだと言う。本書には、松中さんの言語研究と「スーパーカー」に対する熱い思いと、「スーパーカー」を通して心を解き放ち、【本当の自分を取り戻して漢になれ！】という魂のメッセージが込められている。